

## 第14回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会

上椎葉発電所貯水池堆砂対策に向けた水位低下運用の取組みについて

令和7年7月28日

## 要 旨

梅雨や台風などによる大雨が降る出水期には、増水とともに大量の土砂が上椎葉発電所貯水池内に流れ込んでしまいます。流れ込む土砂は、貯水池流入部の水の流れが遅くなる付近に堆積（濁水の原因となるシルト<sup>※1</sup>が溜まる）を繰り返すために、出水の都度堆砂が進行し、上流からの濁水流入に加え、貯水位や流量などによっては貯水池流入部付近での濁水発生の要因となっている現状があります。

これまでのように比較的高い水位にて出水を迎える貯水池運用を継続した場合、出水の都度、貯水池上流の流入部付近において堆砂による河床上昇が進行し、貯水池流入部付近における濁水発生の常態化への懸念などから喫緊の対応が必要な時期に来ていると判断しています。

このため、上椎葉発電所貯水池流入部付近の堆砂対策を目的として、貯水地の水位を下げ出水時の水の流れる力（掃流力）を活用し堆積土砂を湖内で移動させる新たな取組みを行います。

※1 シルト：粒径0.005mm～0.075mm

## 取組み内容

①通常運用では上椎葉発電所貯水池において、堆砂による濁水発生回避の運用を行っています。

※2 流量や需給の状況によっては上記水位を下回る事実もあります。

②気象予測を活用し、一定規模以上の流量増加が見込まれる台風出水時に限り、発電運用やゲート放流によって貯水位EL 465.00m (30.00m) を下限に低下させて土砂移動を行います。

③台風出水後は水位低下運用を解除して、濁水発生を抑制するような運用を心がけていきます。

また、次回以降の取組みについては、運用結果を踏まえ、都度改善しながら行うため変更することもあります。

## 台風出水時の貯水位運用イメージ



# 上椎葉発電所貯水池の堆砂状況及び土砂移動（湖内）イメージ

上椎葉貯水池 堆砂分布図及び縦断面図（R5年度）

